

Origami Tanteidan Newsletter

折紙探偵団新聞

46号

まき



折り紙作品には、負曲率曲面的なものがいくつかある。図1はデンマークのThoki Yenn(トキ・エン)氏の作品『帽子』である。直径40cmの円形の紙の中心部分に直径20cmの同心円の穴を明け、ドーナツ状に残った部分に2cm刻みで同心円を描き、交互に山折り谷折りする。完成すると自然に波打つひだひだの曲面になる。中央の穴に頭を通せば帽子になる!

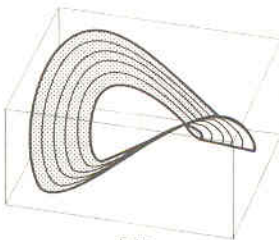


図1

図1の穴を塞いだものは、前回の負曲率曲面のモデルと似た構造である。ただし負曲率曲面的であって、負曲率曲面そのものではない。

さて帽子が波打つ理由を考えてみよう。紐で半径20,22cmの輪を作り同心円状に置く。輪は帽子の折り線に相当する。帽子を折るとき、紙にひだができドーナツの外縁部が中心方向に手繰り寄せられる。これは紐の輪を無理やり中心近くに移動させることと同じである。半径22cmの輪を半径20cmの輪の位置に持ってこようとすると余分な 4π cmが逃げ場を求めてはみ出そうとする。紐は勝手にはみだせるが、同心円状の折り目は互いにつながっているの自由で動けない。もとあった円盤面では身動きが取れないので、しかたなく円盤面の上下にはみ出す(図2)。これが波打つ原動力である。

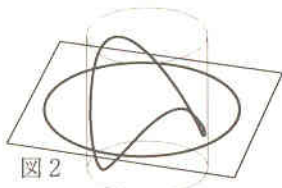


図2

話をかえよう。負曲率曲面的な紙は紙の過飽和状態にあると考えられる。これは折り紙をするには好都合である。仮に負曲率曲面の折り紙が実際にあるとしよう。負曲率曲面的と違って、曲面のあらゆる場所で紙が余って波打たんとしている。これを無理やり平坦にしようと

すると、曲面のいたる所で逃げ場を求めて平坦面の上下に紙が飛び出す。つまり平坦に折ろうとするだけで目

黒さんのウニ(?)ができる。どうだ、すごかろう。アイロンをかけるとウニになろうとする、魔法の紙である。

探偵団ホームページに【00157「折り紙」の宇宙工学、コンビニに(Sun 96/11/17 22:10) by 高井弘明

科学雑誌「SClaS(サイアス)』(朝日新聞社)490円。11月15日発売のNo.4, 10ページに「折り紙」の宇宙工学、コンビニに」という記事があり



第4回

負曲率曲面

まず。三浦公亮先生と缶コーヒのダイヤカット缶が紹介されています。「今後は、ポンと開くと隠れていたダイヤカットが鮮やかによみがえるようなビールの缶も開発していく予定という。」もう一歩進んで、飲み終わると、折り鶴になる缶って、できないでしょうか。】という投稿がある。負曲率曲面を使って実現できるかもしれない。

4次元の折り紙というものがある。

折り紙用紙が立方体で、立方体を平面で二分し分割面に関して一方を面对称移動させることを平坦折りと考える。折る前と折った後は図示できるが、直角に谷折りした状態を正しく描くことはできない。感

覚で理解するしかない。目で見ることが可能なのは、3次元空間への影だけである。

だが4次元の折り紙と違い、負曲率曲面紙は現実存在して手にすることができる。馬の鞍は、尻がのる面はなめらかな曲

面であるが、これは鞍形(あんけい)と呼ばれる純粋な負曲率曲面である(図3)。鞍形の紙漉き簾で漉いた紙でウニらしきものを折ることができるはずである。とは言っても鞍形の紙は入手できないので、負曲率曲面的な紙で負曲率曲面折り紙の雰囲気を楽しむことにしよう。

正方形の紙を2枚用意する。ひとつは辺の midpoint から中心に切り込みを入れる。もうひとつは4等分して小さい正方形にして切り込み部分に張り付ける(図4)。前回の円を正方形

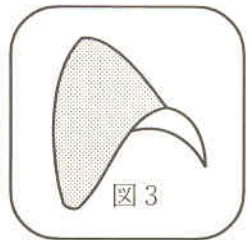
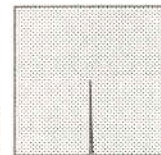
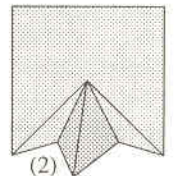


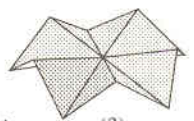
図3



(1)



(2)



(3)

図4

に代えただけである。これはもはや正方形でなく、負曲率曲面的5辺形である。5つのカドを利用すると簡単に桜などの5弁の花ができる。ユニット折り紙ではよく使われるテクニックだが、その本質は負の曲率である。

深みにはまった。もう1回負曲率曲面にお付き合い願いたい。負曲率曲面的と負曲率曲面の違いも次回。



折紙時評

まえかわ じゅん Jun Maekawa

■今回もお笑い路線になってしまった。しかも、
だんだん折紙から話題が離れていく・・・

第6回

「俺が見たってんだ」

前川 淳

★ワープロの誤変換は、時に爆笑を誘う。最近のワープロは賢くなったが、一般的でない用語を使うと、「ひねつて来電波」(非熱的電波:天文用語)などと笑わせてくれる。

一般的でないと言えば、折り紙の用語もあまり一般的ではない。わたしが使っているワープロは折り紙の原稿も書いているので「学習」しているが、そうでないワープロを使うとどうなるか試してみた。どうせなら、おバカなやつをとということで、わざとあまり「練れていない」ものを使ってみた。いやあ、これが、でるわでるわ、なかなかのものがあつた。変換キーを複数回打った後に出たものもあるが、多くは、一回目で変換されたものだ。意図的な細工はまったくしていない。

★まず、「おりがみたんでいだん」と打って、変換する。「檻がみたん鼎談」鼎談。すなわち、三人による話し合い。「檻が満たん」って・・・、たぶん、三人で動物園経営の話をしているのだろう。◇「敷設正方形」(ふせつせいほうけい=不切正方形)こちらは、舗道の工事中である。◇「降りず」(おりず=折り図)「お客さん、終点ですよ」と言わずなるまい。◇「買えるの基本形」(かえるのきほんけい)聞かれても困る。まあ、どこにも売っていないだろう。◇「名変わり折り」(なかわりおり)名前はきちんと決めてくれ。

★千羽鶴折形の作品の考案者・魯縞庵も次のようになる。「炉公案」禅の世界である。同書の著者・秋里籬鳥となると、禅の世界が深まり、悟りをひらいてしまう。「秋悟り等」◇「秘傳千羽鶴折形」もこうなる。「秘伝仙波ツ流折り方」いかにも秘伝である。「ツ」というところが泣かせる。

今号に報告が載っているコンベンションはどうなるか。「今便ション」困ったもんだ。下ネタだ。

谷折り・山折りなど、折り紙界では普通の用語も一筋縄ではない。「他におり」とどこか別のところにいるらしい。もう一回変換すると、「田におり」農作業に出ていることがわかる。◇これなどは、まだ、「変換できなかったのか」と納得できるが、次のものは「どうしてこうなるの」と首をひねらざるを得ない。「山センタ二千」(やませんたにせん)どうやら、標高二千メートルということが言いたいらしい。◇「クローズドシンク」(閉じたかたちでのしずめ折り)は、「絶対正しく変換されないだろう」との期待にやられてくれた。「クローズ度真紅」度真紅。・・・ずいぶんと赤い。こんなに強調しなくてもいいのにも思う。◇「だましぶね」。これは正しく出るだろうと思ったのだが、テキもさるものだ。「玉支部ね」探偵団にも地方支部を作ろうという話があるが、既にできていたのか?でも、玉ってどこだ?◇「展開図」といったごく普通そうな単語も、ある機種では下のようになった。「天下いず」偉そうである。偉そうと言え、次のもそうだ。「一転させん」(いってんさせん=一点鎖線)よし、やってもらおうじゃないか。

★人の名前は誤変換の宝庫だが、とんでもないものは案外少ない。「西川政治」(西川誠司)とくれば、たしかに西川氏も団長が長い、長期政権だなあと思う。が、意表はついていない。◇一方、次のものは意表をついていた。「幫助歌かし」(ほうじょうたかし=北條高史)なんだこりゃ。助けてもらわずにひとりで歌いなさい。

★おもに、あまり日本語を打ち込まない技術系のワークステーション(パソコンよりも高性能のコンピュータ)のさる日本語FEP(変換処理機能)を使ったのだが、こいつ、かなり言葉が乱れている。「正多面体」も次のようになってしまうので、「折り紙用語が

一般的でないから」という理由だけではないふしもある。「背痛めんたい」姿勢が悪かったようだ。

★ただ、「折り図」や「中割り折り」といった用語が一般では通用しない言葉であることは、やはり間違いない。このことは、ここに留めおいて損はない。「中割り折り」、「かぶせ折り」などといった言葉に、「さば折り」なんてのを混ぜておいても、シロートは気がつかないだろう。(気づくか?)

というわけで、今回のこのしょうもない記事からも教訓が引き出せる。すなわち、「一般相手の講習会では、折り紙用語を使ってはいけない」ということである。一方、折紙探偵団コンベンションの教室(しかも最高難度を示す星4つ)などでは、折り紙用語はどんどん使うべきである。これに関しては、わたしの教室で次のような会話があったことを報告しておこう。

▲前川「折り目に沿って押し込むように折ります」▼小学生A少年「要するに中割り折り?」▲前川「そう、中割り折りだね」▼小学生A少年「そんなら早く言ってよ」

★なお、今回の表題「俺が見たってんだ」は、「おりがみたんでいだん」の聞き間違いの一例である。誤変換とよく似たものに聞き間違いがあり、これにも面白いものがある。

また、似たような話で、生前吉野一生さんが気付いた恐るべき事実もある。コンピュータの漢字のコードにはいくつか種類があり、それを取り違えるといわゆる「文字化け」というものが生じる。EUCというコードで書いた折紙探偵団をシフトJISコードとして読むとどうなるか?これが「ダサ貪朴蠹」となるのである。「貪」は「貧しい」ではなくて貪婪(どんらん)の「貪」で、「蠹」は、諸橋轍次博士(大漢和辞典編纂者)しか読めないような字だが、木喰い虫、転じて物事を蝕むことである。ダサくて欲深く物事を蝕む。あんまりである。

第2部第2回 折り紙の条件

羽鳥 公士郎

はとり こうしろう

Hatori Koshiro

折り紙の哲学

Macでアニメーションをかいています。

これがなかなか難しくて・・・



前回の「折り紙の箱は、端的に『折り紙の箱』なのであって、箱に見立てられているわけではありません。」という部分について、岡村昌夫氏が「おりがみ庵」の中で「抵抗がある」といっています。そこで、本題にはいる前に、このことについてひとくさり。

後になって気がついたのですが、箱に見立てられた折り紙の『箱』は存在し得ます。箱とはちょっと違いますが、例えばデビット・ブリルの『升』(図1)などはその例です。この作品とは別に本物の升があって、この作品はその升を表象しています。したがって「標題折り紙」だといえます。

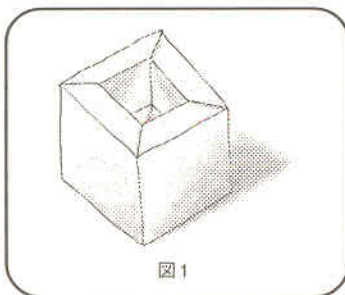


図1

折り紙の条件

さて、前回、ポール・ジャクソンの一線折りは折り紙といえないことではないという話をしましたが、今回は、積極的に、一線折りは折り紙であると主張したいと思います。そのためには、折り紙の条件を明らかにしなければなりません。

折り紙の条件を見つけるには、どうすればよいのでしょうか。

まず、私たちはすでに「折り紙」という概念を使っているということを確認しましょう。私たちは、折り鶴は折り紙だと思っていて、新聞は、紙を半分に折ってあるにもかかわらず、折り紙ではないと思っています。そこで、とりあえずは折り鶴と新聞の区別ができるような条件を探します。

その条件を使って、いままでは折り紙かどうかわからなかったものを判定することができます。しかし、数学と違って、この判定に不服があれば、ためらわずに条件を変更するべきです。ある場合には、条件から得ら

れた結果が常識と異なっている場合があるでしょう。そういう場合は常識のほうを変えます。こうして、私たちの常識と言葉で表された条件をすりあわせてゆきます。

「折り紙は紙を折ったものだ」というわけにはいきません。これでは新聞と折り鶴の区別がつきません。また、「不切正方一枚」を条件に入れてしまうと、ユニット折り紙やブリルの『升』や吉野一生の『ティラノサウルス全身骨格』が折り紙でないことになります。前回の議論から、「見立て」という概念も折り紙の条件としては不適切であることがわかっていました。

私たちが折り紙をする場面を考えてみましょう。折り紙は正方形の紙を使ったり、三角形の紙を使ったり、五角形の紙を使ったりします。最近では便利なことに、気のきいた人たちが紙を正方形に切ったものを売っていますが、折り紙は紙を所定のかたちで切るところから始まるというよいでしょう。

次にその紙を折ります。もちろんこれがメインです。これで終わる場合もありますが、くす玉をつくるときは折られた紙を組み合わせなければなりません。また、かたちを整えるのに糊を使う場合もあります。つまり、折り紙では、紙を切って折って貼ります。

それだけならば、市販の封筒だって、紙を切って折って貼ってあります。折り紙の封筒はありますが、すべ

ての封筒は折り紙である、といったらい過ぎでしょう。紙の切り方、折り方、貼りに制限がなければなりません。

以上の議論をふまえて、折り紙の条件として、次のような条件を提案したいと思います。

「折り紙とは、紙を折る前には明らかになっていなかったかたちを、紙を折ることによって引き出すことである。」

例えば、折り鶴は正方形の紙から折るわけですが、正方形の紙をいくつ眺めても、その中に折り鶴のあの立体的なかたちは見えてきません。紙を折ってはじめて、折り鶴のかたちがあらわれます。一方、封筒の場合、封筒のかたちにしておく紙を切りますので、紙を切った時点で封筒のかたちが見えてしまいます。

この条件の、「明らかになっていない」「折ることによって」という基準はとてもあいまいです。ですので、この条件自体もあいまいです。しかし、「折り紙」という概念自体がとてもあいまいである以上、それは当然のことです。それでも、この条件は、折り紙とペーパークラフトを区別できるほどには、はっきりしていると思います。

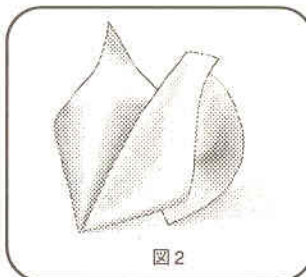
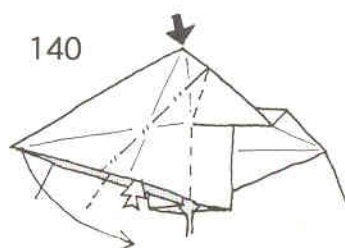


図2

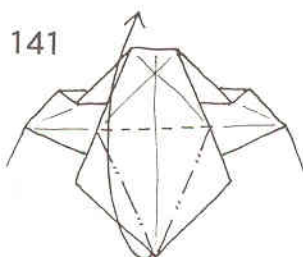
さて、この条件にてらせば、ジャクソンの一線折り(図2)は折り紙であるといえるでしょう。一線折りの、あの悠然とした、あるいは緊迫した、あるいは官能的なかたちは、もとの正方形の中に見いだすことはできません。そして、効果的な折りによってかたちが引き出されています。

今回はさらに、一線折りが名作であると主張するつもりです。同時に、名作の条件を考えます。

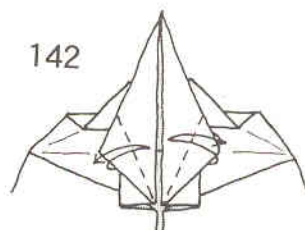
トラ (第3回・完結編) 作/図 小松英夫



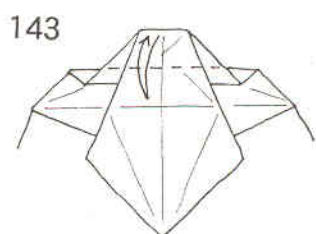
136 でつけた折り筋を
使ってつぶす



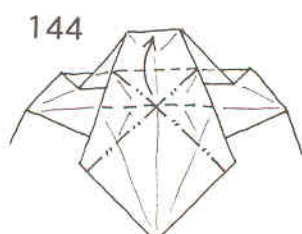
花弁折り



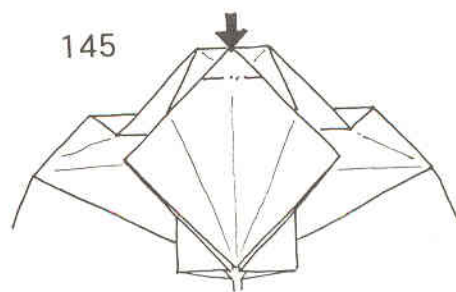
折り筋をつけたら
141 の状態に戻す



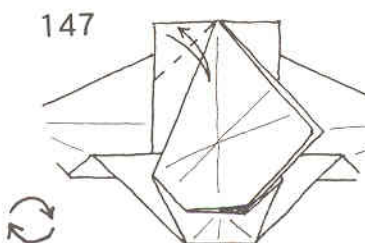
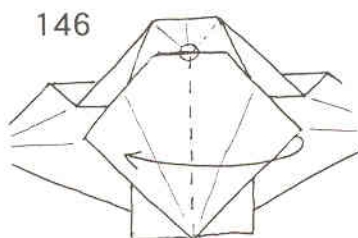
下の縁に合わせて
折り筋をつける



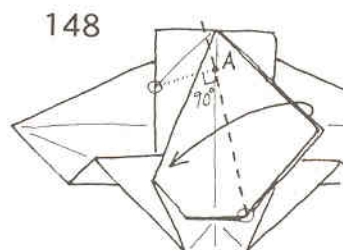
つけた折り目で
折り鶴の半分を折る



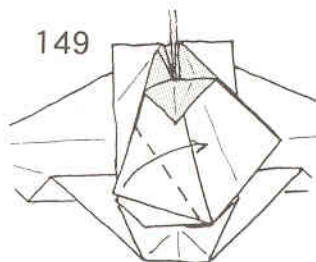
open-sink
次の図を参考に



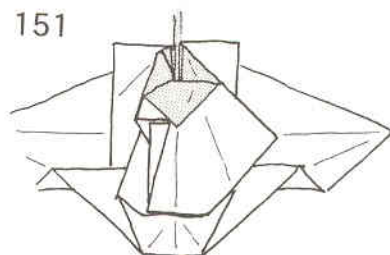
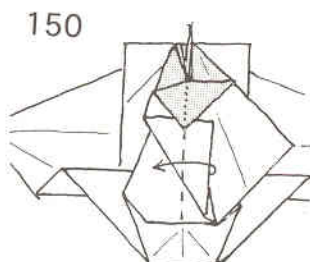
折り筋をつける



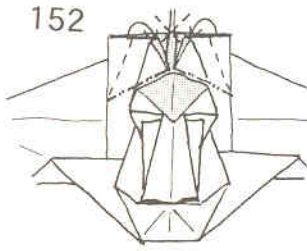
図をよく見てA点を
通る線で折る



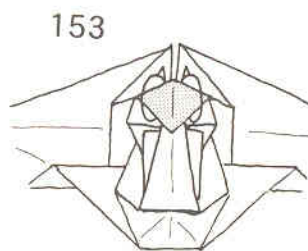
これはくらい折り
目になるので注意



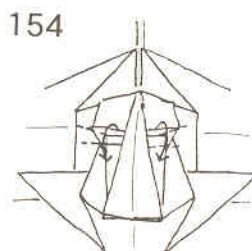
右側も 147~150 と同様



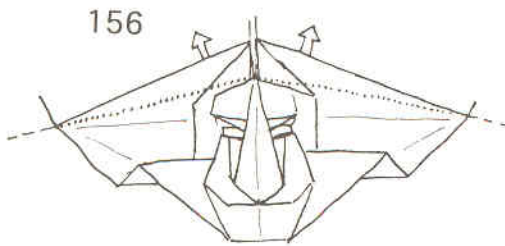
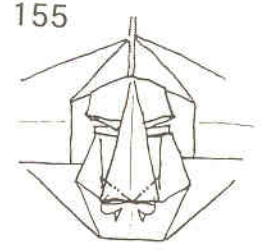
中割り折り



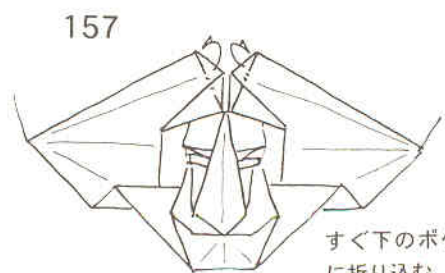
額部分を裏返す



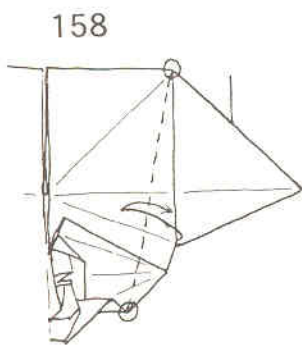
ひだの中で折って
目をつくる



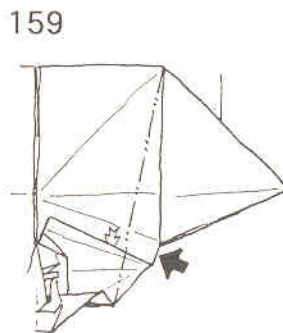
下の紙を引き出す



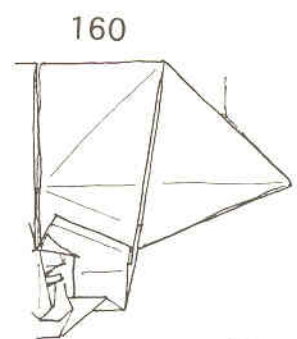
すぐ下のポケット
に折り込む



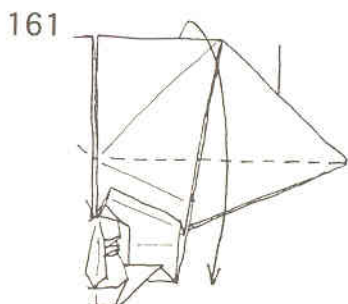
印を結ぶ折り筋をつける



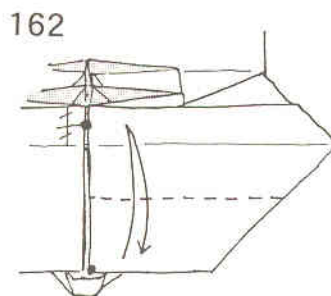
つけた折り筋で沈める
表: open-sink 裏: closed-sink



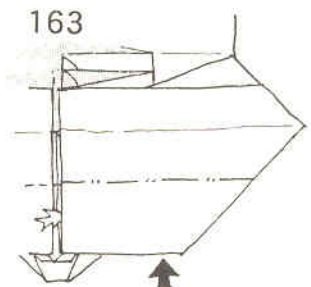
左側も同様



左側も同様

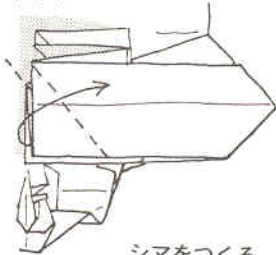


折り筋をつける



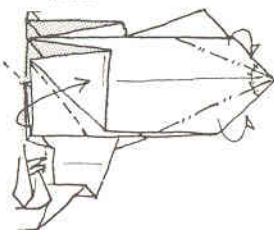
つけた折り筋で
押し込む(中割り折り)

164



シマをつくる

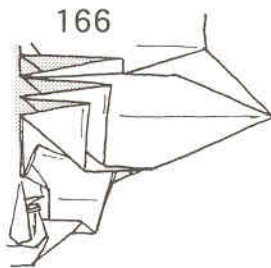
165



シマをつくる

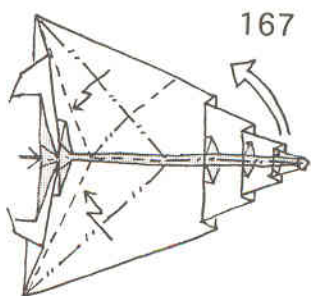
足をすぐ後ろに折り込み細くする

166



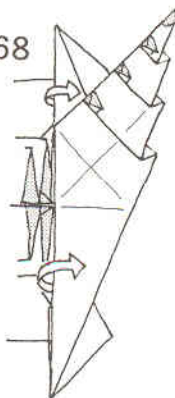
左側も 162~165 と同様

167



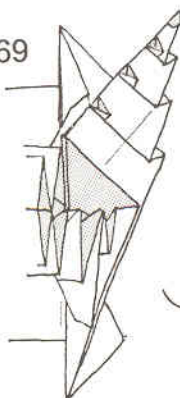
(尻尾) についている折り筋で
つまむように折る

168

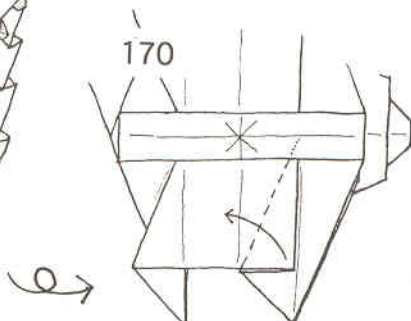


中の紙を引き出してかぶせる

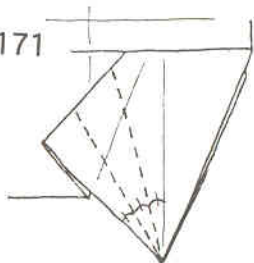
169



170

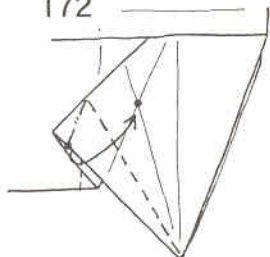


171



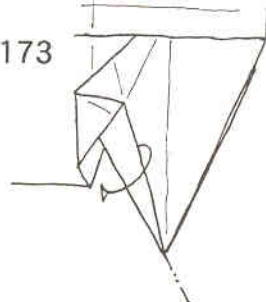
45度を3等分する

172



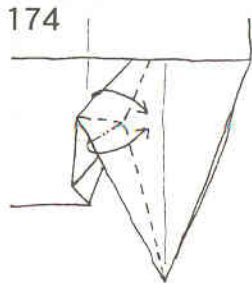
折り筋の交点に
合わせるように折る

173

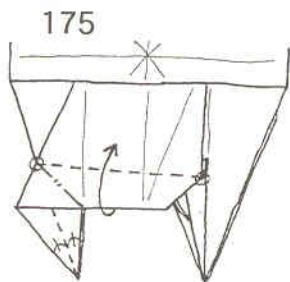


裏に折り返す

174

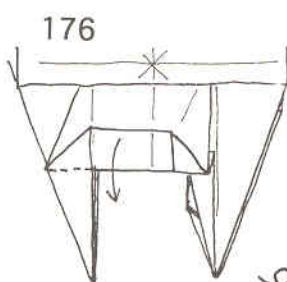


175

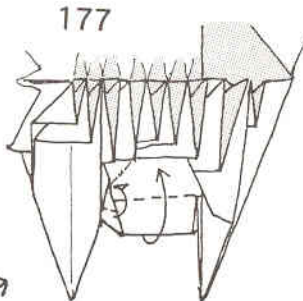


印を結ぶ線で折り
上げる

176

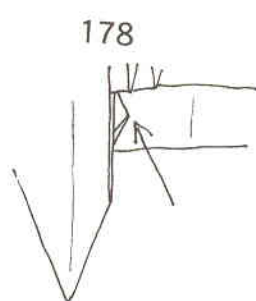


177

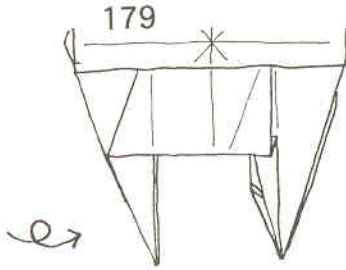


についている折り目を
逆にして折り込む

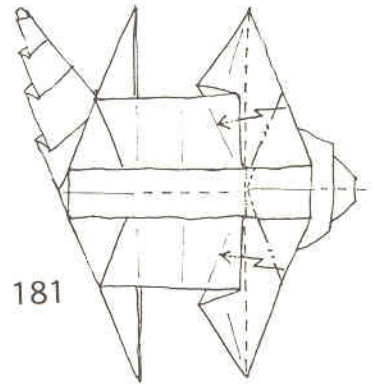
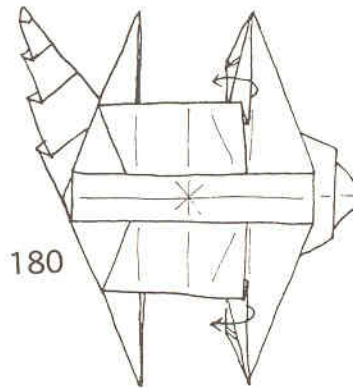
178



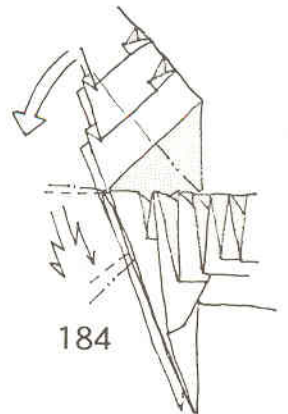
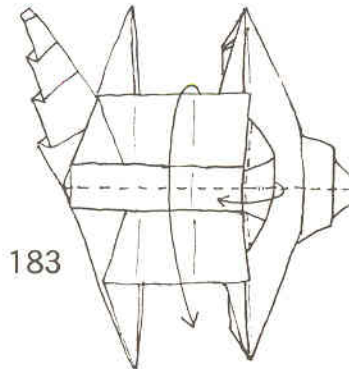
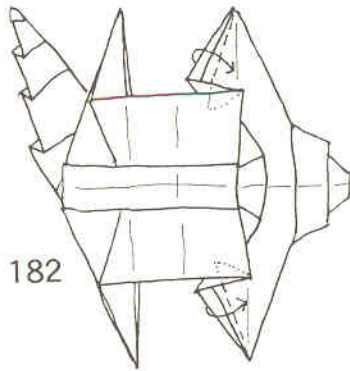
図のように折り込
まれていること



反対側も170~178と同様に



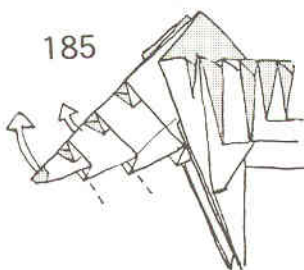
ひだの下に段折り
(立体になる)



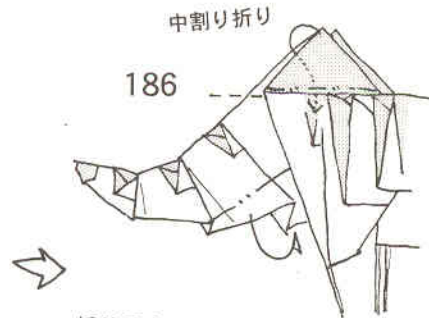
折り込んだ部分を
まとめて折り戻す

半分に折りながら折り畳む

一番外側を残して
折り下げる

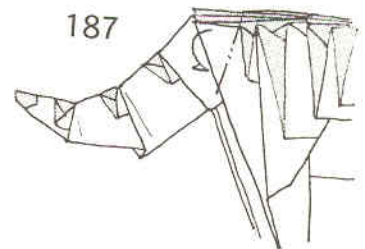


尻尾を引き上げる

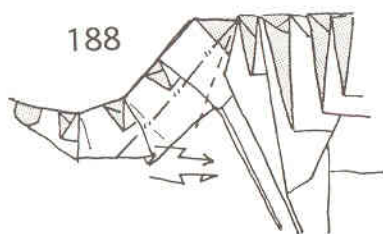


折り目をつかって
折り込む

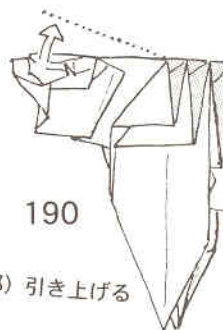
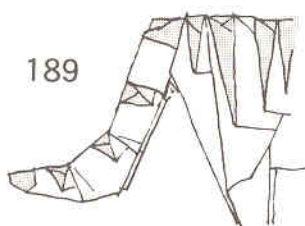
それぞれ反対側も



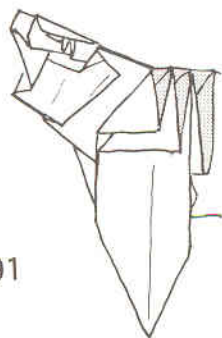
反対側も同様に



尻尾を細くしながら
折り下げる

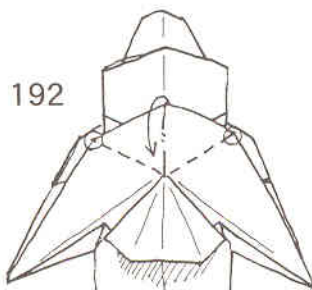


190
(頭部) 引き上げる



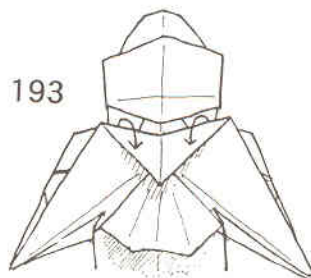
191

少し広げて前から見る



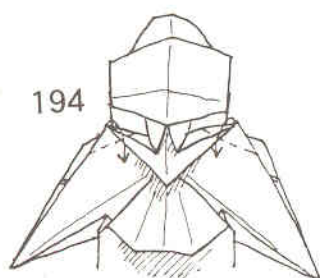
192

折り下げるように
中割り折り



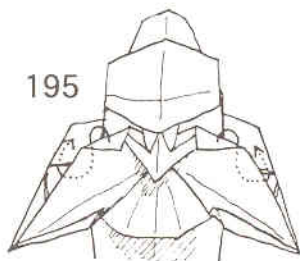
193

後ろ側から引き出す



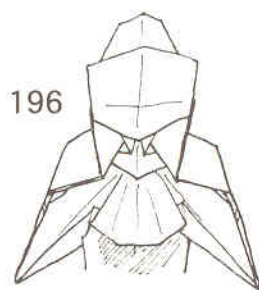
194

先を少し折る



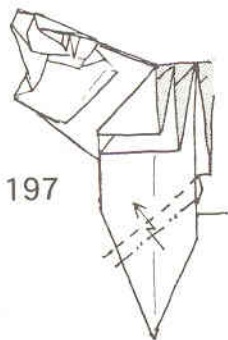
195

後ろのポケットに差し込む



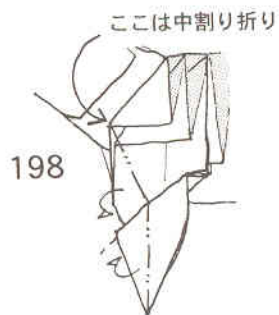
196

閉じて横から見る



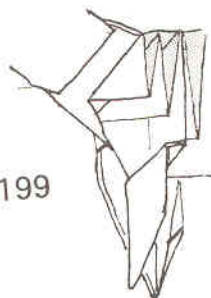
197

(前足) 段折り
幅は次の折りを考えて



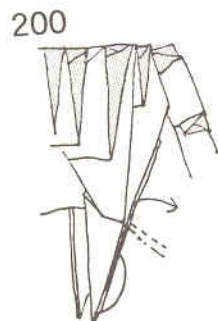
198

固いので気をつけて折る



199

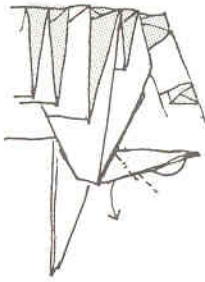
反対側も同様に



200

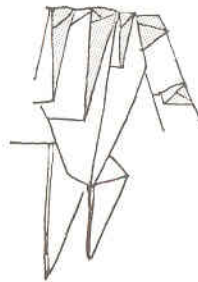
(後足) ひだを3枚、
3枚に分けて中割り折り

201



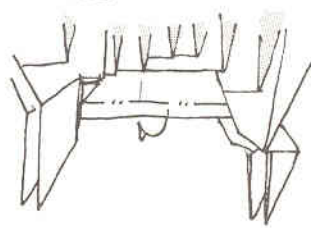
中割り折り

202



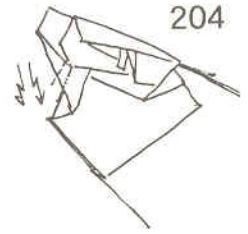
反対側も同様に

203

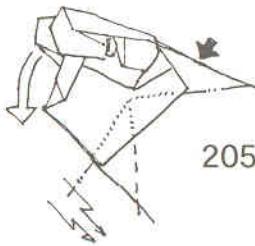


体を細くする
後足の裏の持ち上がってくる
部分はつぶす 反対側も同様

204



(頭部)
口を折り下げる



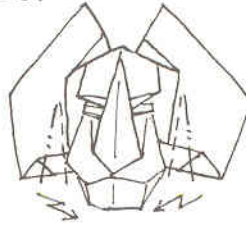
頭を折り下げる

206



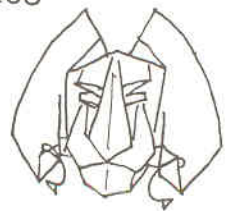
首を折り込む
(頭部の固定)

207



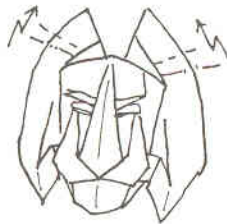
段折り

208



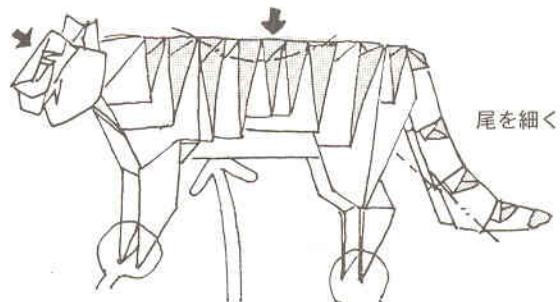
裏返す

209



耳の形をととのえる

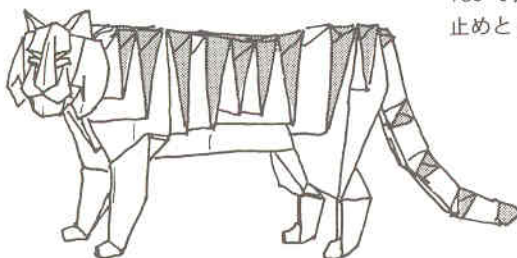
210



体を立体的にする

尾を細く折る

211



できあがり

183で折った部分を開き
止めとして折り込む

足は・中割り折り2回
・先を折り込む

"TIGER"

model designed by Hideo Komatsu Aug.1994 -Jan.1997
"tegaki" diagrams produced by H.K. May-Sep.1997
respect to Fumiaki Kawahata, John Montroll and Seiji Nishikawa
thanks to ORIGAMI TANTEIDAN

えー、やっと終わりました。折り過ぎ、の感もあるこの作品を、いったいどれほどの方に実際に折っていただけるのか気になっています。繰り返し返しますが、なるべく大きい紙を使ってください。手描き折り図はこれが最初で最後になるでしょう。これ、いつかパソコン折り図に描き直さなくちゃいけないのかなあ。ふう。

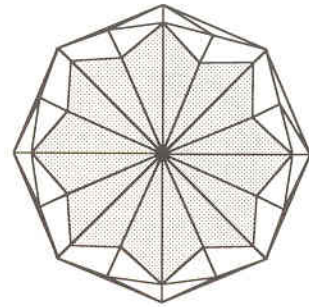
シリーズ トップおりがみを継ぐもの1-1

創作：1987, 作図：1997.Sep.22 川崎敏和

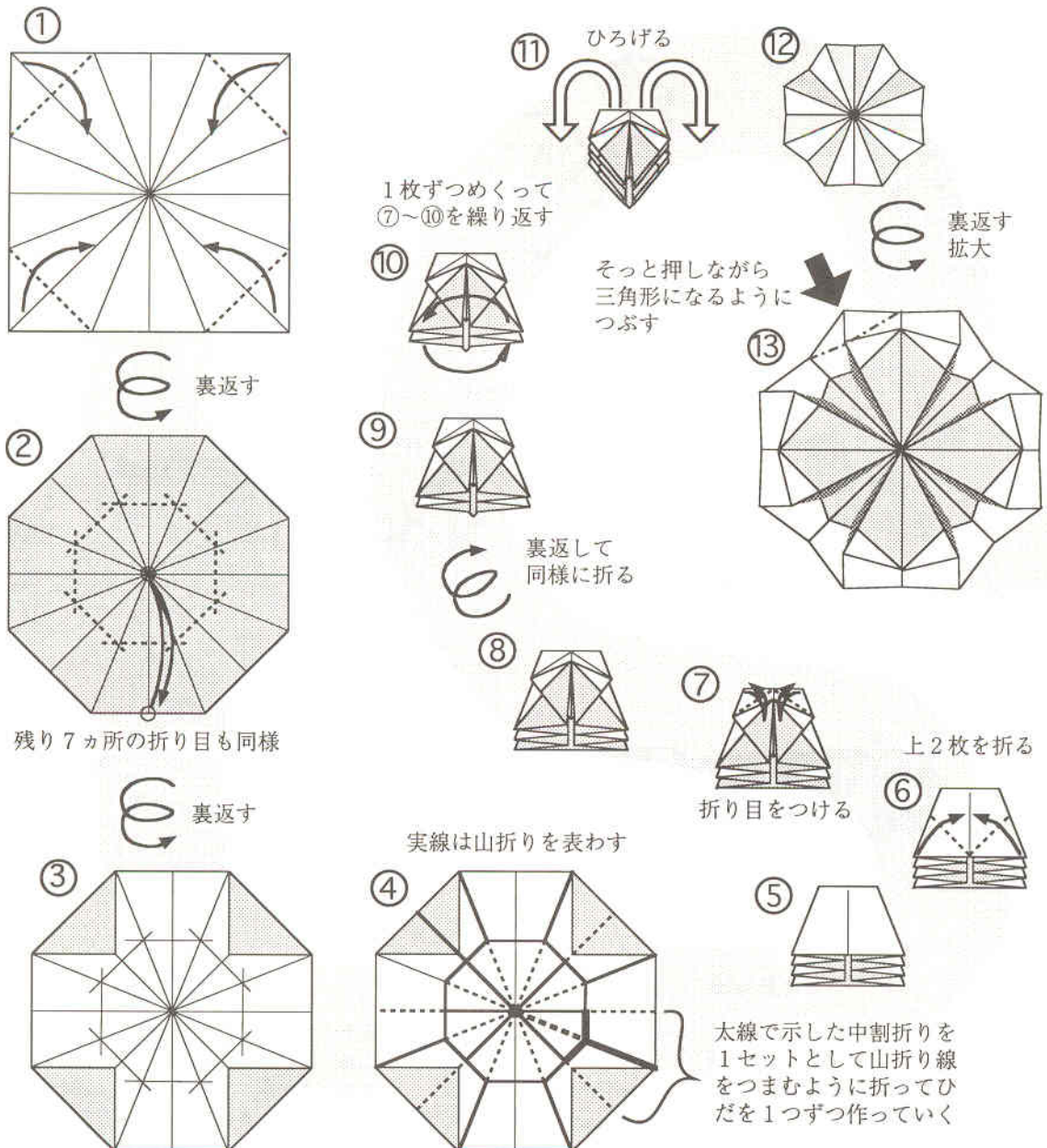
飾り切りしたゆで卵

(7.5cm×7.5cm)

黄色い色紙で折ります。もちろん飾り切りしたゆで卵を作るつもりでできたの訳ではありません。右図をみてもしっくりこないかもしれませんが、実際に折ると飾り切りしたゆで卵です。



はじめて折るときは15cm角の用紙で練習してください

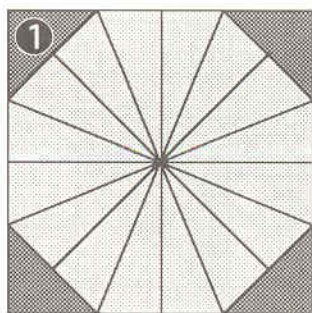
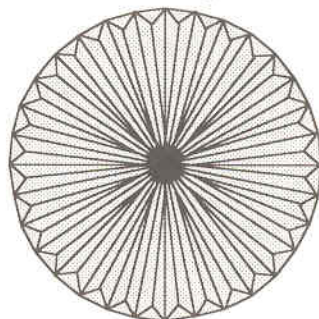


シリーズ トップおりがみを継ぐもの1-2

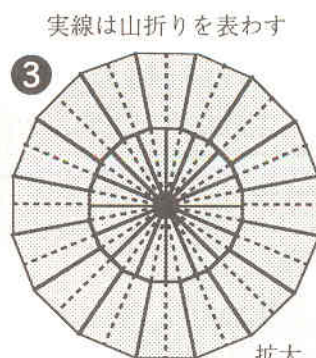
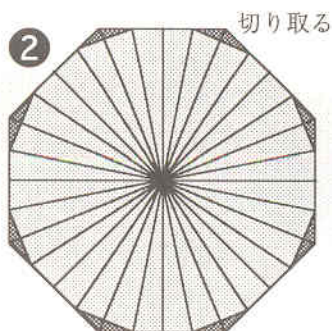
創作：198?, 作図：1997.Sep.22 川崎敏和

菊 (15cm×15cmから切り出した16, 32角形)

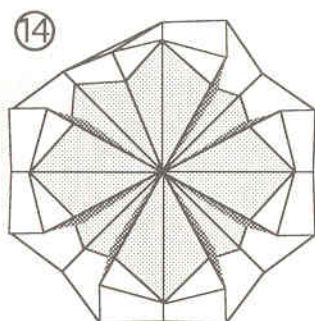
カドの多い偶角形で折ります。折り方は16角形の用紙で説明します。飾り切りしたゆで卵と本質は同じですが、ひだが細くなるので、焦らずに丁寧に折ってください。右図は32角形で折ったものです。



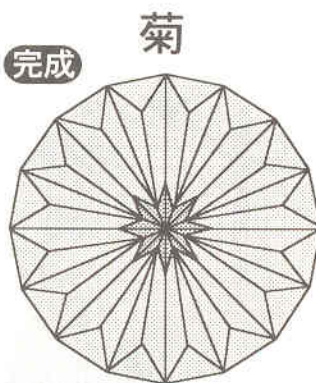
切り取る



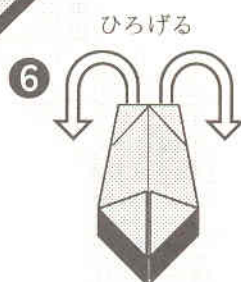
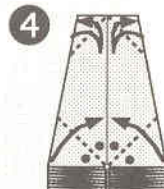
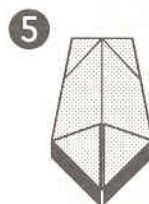
拡大



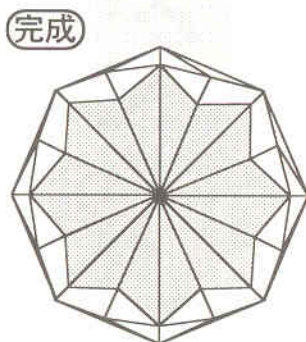
残り7カ所も同様



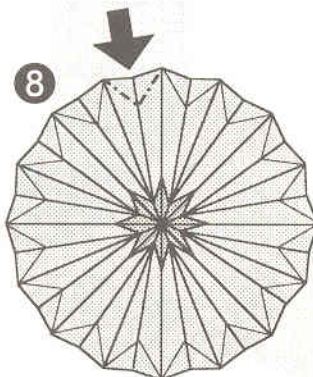
他のカドも
④同様に折る



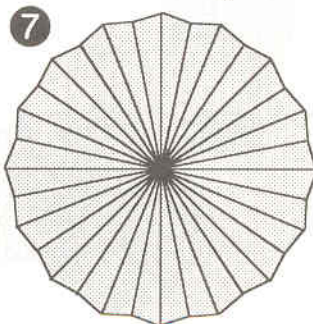
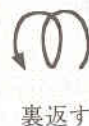
ひろげる



飾り切りしたゆで卵



卵の⑭同様に軽く押す
残り15カ所も同様



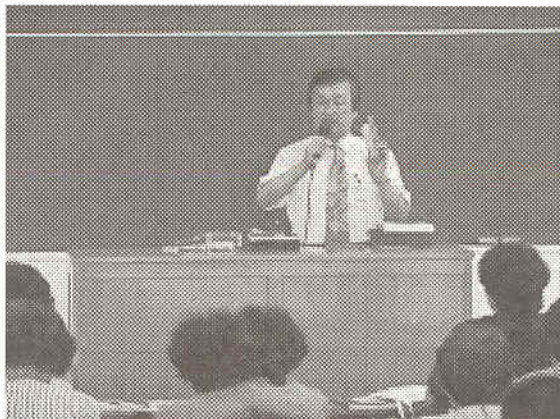
去る8月23・24日の両日、東京・文京区の東洋大学において、第3回折紙探偵団コンベンションが開催された。今回で3回目を迎える今大会は、参加人員は約150人という規模で、これまでの基本コンセプトである折り紙教室のさらなる充実を図つつ、「吉野一生基金による海外ゲストの招待」といった新機軸を展開するなど、定例化にむけての着実な進歩を見せていた。さらに「千羽鶴折形200周年記念」に関する特別講演や講習を行うなど、様々な試みをふんだんに盛り込んだものとなった。

第3回折紙探偵団コンベンション レポート

探偵団のイベントの中でも最大級の規模である「折紙探偵団コンベンション」が今年も開催された。なんと言っても今回最も目を引いたのは、新しい開催場所と「吉野一生基金」による海外からの招待客であったろう。大会の主な内容は例年通り探偵団の主なメンバーによる作品制作指導である。その他、理論や哲学に関する講義やお約束の手品など、バラエティーに富んだ教室が2日間で40以上展開された。

初日の23日には早くから多くの人が受付をすませ、広々とした講義室において久しぶりに顔を合わせた友人、知人とともに早くも折り紙談義に花をさかせていた。受付が一区切りつき、昼休みを挟んだところで全体会が始まった。西川団長に

よる開会の言葉、一生基金の会計報告（川上）などに続いて記念すべき1人目の招待客となったリック・ビーチ氏（イギリス）の挨拶が羽鳥氏の通訳を通して行われた。そこでビーチ氏は友人である吉野氏の死を悼み、さらに吉野氏の名を冠する基金による招待に対しての感謝の気持ちを述べた。（生前の氏の海外との交流のなかで最も親交が深かったひとりであるビーチ氏が選ばれた）そして「千羽鶴折形」特別講演が折り紙の歴史研究家の第一人者である岡村氏によって、



▲「千羽鶴折形」特別講演で熱弁をふるう岡村氏

話題が縦横無尽に駆けめぐりながら行われた後、お待ちかねの教室の開始である。希望の講習へとそれぞれが折り紙を握りしめ移動した。

初参加・佐藤健太郎が見た(1)

言わずと知れた探偵団の夏のメインイベント。今回からは吉野基金によるリック・ビーチさんの招待や、初の大学の教室を使った講習など一層充実した態勢となった。この日発売された菅野美穂の写真集などには見向きもせず全国から集まった折り紙愛好家の数は約150人。個人的には、私は今回初参加であった。どんな雰囲気、どんな人が集まってどんなことが行われるのか、ややドキドキしながら午前11時会場に到着。広い部屋はすでに津々浦々から集まった愛好家たちの熱気で溢れていた。手早

く受付を済ませ、展示作品のコーナーを見に行く。この日のために用意された自信作たちであり、作者の気合いのほどが感じられるものばかりであった。印象的だったのは川畑氏の「ヨード」、小松君の「モーゼ」など。

午後からはさっそく講義開始。全体的にかなり難しい作品が多かったように思うが、互いに教え合うなどしてみなさん結構こなしていたようである。小学生軍団が難解な作品をさらさらと仕上げてしまうのは驚き。集中力はさすがである。講師の方々

にはやはり時間配分が難しかったようで、時間内に終了せず補講をやるはめになったケースもあったようである。逆に小松君の「リス」などは2時間のはずが1時間で完成してしまい、他に3作品も教えてもらえるというボーナスつきのおいしい講習となった。前川氏などはさすがに手慣れたもので、ユーモアを交えつつ1時間でぴったりと講義を終了。ただ今年は噂に聞く「踊る講義」というものを見せていただけなかったのがやや残念ではあった。肩に違和感でもあったのか、体力の限界ででもあったのだろうか。来年以降に期待したい。

各人が密度の濃い折り紙を堪能し終える頃、曇天模様の空から信じられない大きさの天粒がふりだした。なんとか懇親会の会場である文京区民センターへの移動を完了させた参加者達は豪華な料理を前にしばし歓談のときを持った。今回も希望者は近くの旅館に宿泊ができ、大部屋にて満足のいくまで同好の士との語らいを楽しむことができた。



▲川畑氏の作品に群がる・・

初参加・佐藤健太郎が見た (2)

1日目夕方は場所を文京区民センターに移し、懇親会が行われた。会場にはミウラ折りで知られる三浦公亮教授なども姿を現し、盛会となった。個人的にもいろいろな方々と普段あまりできない話をする事ができ、大きな収穫があった。羽鳥昌男氏の握った寿司が旨かったことも見逃せない。締めとなったのは大クイズ大会。前川氏の軽妙なトーク、川上さんの自らの役回りを十分に心得た(西川氏評)ボケの連発などで会場は大いに盛り上がった。結局優勝したのは全身から闘志を必要以上にみなぎらせていた木下剛君。若さとパワーで強豪を退け、見事豪華優勝カップ(高さ約10cm)を手にして懇親会の最後を飾った。

悲劇が我々を襲ったのはその直後であった。宿に向かうべくほろ酔い気分を外に出てきた団員たちを待つ

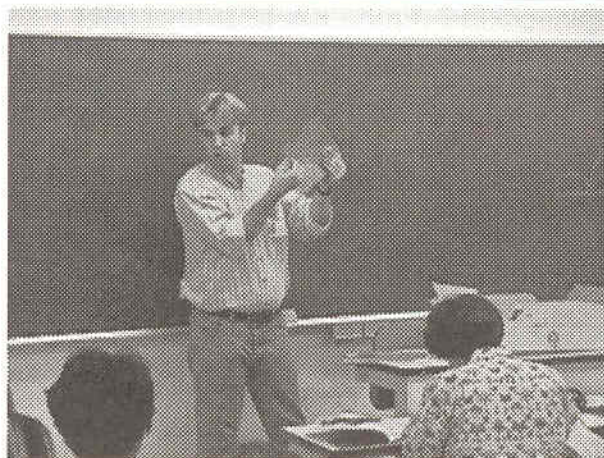
ていたのは、雷鳴を伴う滝のような大豪雨。しばし呆然としてみな動けないでいたが、たまたま傘を持っていた人が宿まで行って傘を借りてきてくれて、なんとか全員出発。しかしここで第二の悲劇が襲いかかる。宿の所在を知っている数名がどんどん先行してしまい、後続の約30人が取り残されてしまったのである。ずぶ濡れでさまようこと数十分、ふだんの文学散歩でこのあたりの地理に通じていた岡村先生が道を思い出してくれてなんとか九死に一生を得た。啄木、一葉、そして吉野さんのお導きでもあったのだろうか。おそらく「第3回嵐のコンベンション」として後世に語り継がれることになるだろう。皆がこれだけは濡らさぬようにと、必死に折り紙だけは守り通したのはいうまでもない。

初参加・佐藤健太郎が見た (3)

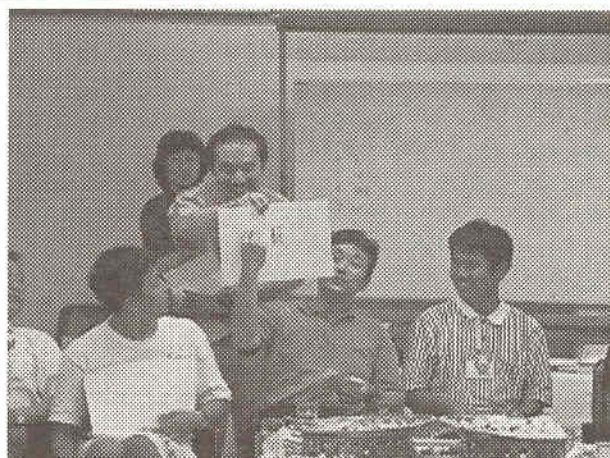
宿にたどり着いて一風呂浴びて人心地がついたところで、さっそく宴会開始。まず場を盛り上げてくれたのが木下剛君。山口氏の巧妙な煽りもあって、天をも恐れぬトークで満座を沸かせてくれた。ほんとにいいキャラクターである。次回のTVチャンピオンにはぜひ彼に出てもらいたいとここでリクエストしておく。さらに盛り上げてくれたのが和久さんのトランプ

マジック。独特の関西弁で人をベースに巻き込む見事な話術と技術に場内は拍手喝采。盛り上がり過ぎて旅館の人から静かにしろと注意されるくらいであった。こう書くとも折り紙の話は何もしていないようだがそんなことはなく、例えば神谷君のドラゴン(凄まじい完成度であった)を囲んでの座談会のときが一番全員が目が輝いていたことを付記しておく。

2日目の24日も早くから教室の申込用紙を握りしめた人々が、会場に集まっていた。(これは誇張ではなく、申込が早い者勝ちという事実から起こる出来事)なんと言っても2日目は朝から夕方まで折り紙三昧の日である。この日も様々な教室が様々なジャンルの折り紙を教え、前出のビーチ氏も講習を持つなど大いに盛り上がった。第1回、2回と成功を重ねてきたコンベンションを、より面白く、より充実したものにしよう、という気持ちが見事に形になった大会となった。



▲リック・ビーチ氏の教室



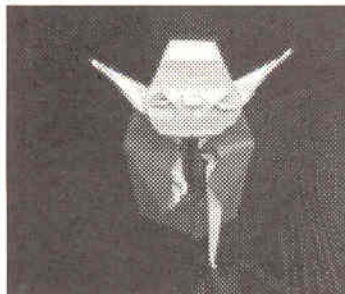
▲クイズで盛り上がる懇親会

初参加・佐藤健太郎が見た (4)

翌24日は嘘のような快晴となり、講義のあと折り紙オークション(司会者前川氏が最高額を投じていた)などを経て、盛況の中無事コンペションは幕を閉じた。全体として若手のレベルアップを感じた反面、もうちょっと底辺が広がればなという気もした。個人的にも収穫が多く、友人などもできて楽しい集まりであった。もちろん来年も参加したいと思っている。目標としては来年は自信作を展示コーナーに持ち込み、今世紀中に講師を務められるまでになりたい(言ってしまった)。ではみなさん、来年の夏また会いましょう!



▲作品を前に集合写真



▲川畑氏のヨード

会場は岡村氏の尽力と日本人形玩具学会の御協力により、例年の文京区民センターから東洋大学へと移された。何分スタッフの多くも初めて会場入りしたのが当日の朝、というほどの新鮮さであった。

吉野一生基金第一回招待者

リック・ビーチさんからのお願い

Rich Beech wishes to thank Tanteidan members for thier friendship, kindness, help, and generosity while he visited Japan. Rick had a wonderful time, and was truly grateful to the Issei Yoshino Fund for the invitation. Please continue to correspond with me, as I enjoy hearing from you. Please also send me your model diagrams, so that the BOS can enjoy folding them!

日本滞在中は、探偵団の皆様には友情、親切、助力、そして寛大さを賜りました。お礼申し上げます。日本ではとてもすばらしい日々を過ごしました。吉野一生基金の招待に深く感謝しています。

私は、皆様からのお便りをとても楽しみにしています。今後とも、ぜひ私にお便りを下さい。また、貴方の作品をイギリスの人たちが楽しめるように、折り図を送って下さい。

イベント・講習会情報

■九州大学公開講演会

九州大学理学部大学院数理学研究科において、公開講演会を行います。数学の専門家でなく一般の方々を対象としています。予備知識はほとんど必要ありません。かつて三角形の合同を理解できた人なら何の問題もありません。大学の数学と尻込みせずに振るってご参加ください。

講演者 川崎敏和氏(佐世保高専助教授)

題目 折り鶴の幾何

日時 10月27日(月)

15時より2時間程度

場所 九州大学理学部1号館1434室

問い合わせ先

092-642-2773(事務室)

■前川氏による講演/ワークショップ

場所 前橋工業大学

講演者 前川淳

日時 11月9日(日)

内容 折り紙の簡単な定理と実演

対象 小中高大学生と父兄

問い合わせ先

027-265-7324 奥村 博助教授

■九州折紙コンペション

九州折紙コンペションが一昨年の長崎、昨年の福岡に続き、今年は鹿児島にて開催(日本折紙協会鹿児島支部主催)します。この機会を利用して東洋のナポリ鹿児島に遊びに来ませんか。

日程 11月22日(土)23日(日)

会場 アーバンポートホテル鹿児島
鹿児島市小川町15-1

(電話 099-239-4111)

参加費 3,000円(子供1500円)

懇親会費 6,000円(子供2000円)

宿泊費 10,000円(23日朝・昼食)

内容 川崎敏和氏による講演

「世界折紙事情と21世紀の折紙」その他、折り紙教室、折紙市場(初心者コーナー有り)、など。申込み締め切り10月31日。

問い合わせ先

(Office) 宮本真理子

〒890 鹿児島市紫原1-10-13-1201

Tel/Fax 099-258-6306 (The time for appreciation is 19:00-20:00, Japan)

おりすじ

コンプレックス コンプレックス

新本 祐一

私が折り紙について関心を持ったのは、たまたま見ていたテレビ番組で松尾貴史さんの「折り顔」を紹介していたのがきっかけです。

「今、女子高生に大人気の折り顔」「友達の顔を折り紙で折るのが大ブーム」と言うアナウンサーの言葉にだまされて、「そうか、これからは折り紙の時代か!」と思った私は本屋の折り紙コーナーに走りました。しかし、当然のことながら、そこには女子高生の姿はなく、そのうえ「折り顔」の本もありませんでした。がっかりした私は手ぶらで帰るのも悔しいので、そこで見つけた「をる」の人面特集号を購入し仕方なく家に帰ったのでした。しかし、「をる」の中を見た瞬間に「折り紙の悪魔」に魂を吸いとられてしまいました。前川さんの特集記事で、今まで見たことのないような複雑な折り紙のオンパレードに圧倒されてしまい、エベレストに挑戦する登山家の様に「いつか、悪魔を折ってやる」と心に決めたのです。その時にはすでに折り顔のことも女子高生のことも忘れてしまっていたのですが、本当に折り顔ブームなるものが存在していたかどうかは怪しいも

のです。

私が探偵団に入ったのは第2回のコンベンションに参加したことがきっかけです。しかし京都で暮らしているので例会にも参加できず、また創作活動をしていない私にとって、探偵団の活動は自分が積極的に参加できないような気がして、単なる新聞購読者として1年を過ごしてきました。おりすじの原稿を書くのも主要なメンバーの方が交代で書いているものと思い、新聞の原稿にも参加することをあきらめていましたが、「原稿をどんどん書いて下さい」という西川団長の言葉に励まされ、今回はおりすじを書かせていただきました。きっと私のような思いの人はたくさんいるはずです。みなさんも「おりがみはうす」でみんなが悲鳴をあげるぐらいがんばって原稿を送りましょう。

さて、「悪魔」を折るために折り紙を始めた私ですが、いまだに折れていません。しかし何とか複雑な折り紙を折りたいと思い続ける私は、やはり「コンプレックス・コンプレックス(複雑折り紙症候群)」になってしまったのでしょうか。

新刊書紹介

「オトナの遊び時間」

NHKで放送されていた同番組の単行本である。松尾貴史、折紙探偵団を中心とした折り紙を楽しむオトナ達が6ページにわたって紹介されている。KTC中央出版 1500円、立ち読みでいいかも。

折紙探偵団定期例会の お知らせ

10月25日(土) 午後5時30頃～8時頃
文京シビックセンター3F (いつもと場所が違いますお間違いないように。文京区民センターから徒歩2分。周辺で最も背の高い建物)
11月29日(土) 場所、時間未定。
詳細は電話でお問い合わせ下さい。

コマツ
ビデオの 折ったもんがち!

▷バーチャル折り紙時代◁



定価 300 円

発行・折紙探偵団

〒113 東京都文京区白山1-33-8-216
ギャラリーおりがみはうす内

Phone (03) 5684-6080

発行人・西川誠司

編集人・岡村昌夫

第3回コンベンションは
おりがみメーカー4社の
用紙協力によって支えら
れ沢山の作品を折ること
ができました。

おりがみ4社(五十音順)

(株) クラサワ

ショウワグリーム(株)

(株) トーヨー

中村紙工(有)

ありがとうございました。